



全国森林
ボランティア探訪
Vol.45

NPO法人 樹木・環境ネットワーク協会



町田・三輪里山 保全作業前の事前説明

樹木・環境ネットワーク協会は「自然共生型社会」を目指すNPOとして平成7年9月に設立されました。平成10年からは「グリーンセイバー」（緑を守る人）を育成し、森林生態系の正しい知識を普及する活動を行っています。

また、行政や企業、団体などが相互に連携するためのプラットフォームとして、ネットワークづくりや地域の自然資源を利用した循環型社会づくりを推進しています。

自然とともに生きる

社会を目指して

樹木・環境ネットワーク協会は東京・大阪に拠点を置き、創設以来、個人、企業と協力しながら自然とともに生きる社会づくりを推進してきました。全国の荒廃した森や里山などを地域住民とともに、多様な生物が暮らす環境に再生・保全し、新たな森の活用を提案しています。

また、バイオマスを核とした地域づくりへの参加や、企業、個人への環境教育・啓発活動なども行っています。

フィールド活動

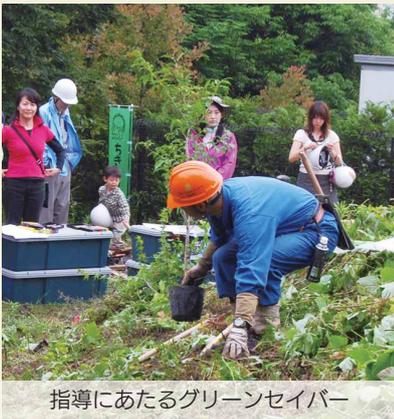


協会は、個人や自治体などの土地所有者から保全依頼のあつ

た山地・里山など、全国14カ所をフィールドとして、自治体や地域住民と協力しながら活動しています。代表的なフィールドとしては、和歌山ワーキング（和歌山県・人工林の育成）、御杖村フィールド（奈良県・自然林の保全・利用・再生）、八ヶ岳ワーキング（長野県・奥山の保全活動）、嵐山ふれあいの森（埼玉県・里山の保全・利用・再生）などがあります。



自然とふれあうこどもたち



指導にあたるグリーンセイバー



嵐山ふれあいの森での植樹活動



NPO 法人 樹木・環境ネットワーク協会

- 会員数 一般会員 約 700 人 企業会員 28 社
- 活動フィールド 東京、埼玉、長野、奈良など全国 14 箇所
- ホームページ <http://www.shu.or.jp/>

候補地の選定、全体のプランニング、保全作業計画、フィールドでの保全作業についてサポートを行っています。具体的には「嵐山ふれあいの森」をフィールドとした株式会社損害保険ジャパンの「企業の森」サポートがあげられます。これは会社創立120周年としてスタートした活動で、かつては里山として利用されながらも近年放置されている雑木林の整備を通じて、人と自然がふれあえる森づくりを目指すています。首都圏の損保ジャパン関連事業所からの参加社員と、ホームページやメルマガジンで広く一般に募ったボランティアメンバーが中心となり、育樹、植栽などの保全活動、ツリーインングなど、

社会的にも環境への意識が高まりつつある中、社会貢献活動の一環として「企業の森」を設定し、自然保護活動に取り組み企業がすすんでいます。協会ではそういった「企業の森」活動を全面的に支援し、



グリーンセイバーリーフレット

グリーンセイバーの活動と環境啓発プログラムの実施
グリーンセイバーは、自然環境・生態系に関する幅広い知識を体系的に身につけ、自然と調和した社会づくりに貢献できる人材の育成を目的とした資格です。一般の方へ自然と触れ合い、楽しく学ぶ機会を提供し、自然の大切さや自然を守る意識を普及させる活動がグリーンセイバーの主な役割です。当協会が年1回資格検定試

家族で楽しめるイベントを年3回行っています。また、定例活動として毎月第4土曜日にはスギ・ヒノキの人工林を混交林にすることを目的とした植樹、除伐、下草刈りの作業をしながら散策路づくりなども行っています。

今後の取組
現在のフィールド活動を今後も継続していくとともに、国際森林年ともリンクさせながら、体験プログラムを充実させていきたいと考えています。人々が森林に気軽に訪れることができ、森林保全活動にも積極的に参加できるように社会づくりが協会の目標です。



験を実施し、すでに3千人を超える方々が地域での活動に欠かすことのできないグリーンセイバーとして活躍しています。また、企業向けには、社員意識の向上、環境活動への理解など、企業の主体的な取組に対するサポートを目的に「企業とNPOの協働による社員のための環境啓発プログラム」を実施しています。昨年度は東京ガス株式会社（工場緑地での体験型プログラム（勉強会、ワークショップ、クイズなど）や、鹿島建設株式会社での座学型プログラム「環境クイズづくり」を実施しました。